

大学生協 関西北陸ブロック 京滋・奈良エリア

消費者教育タスクチームの活動について

大学生協 関西北陸ブロック 京滋・奈良エリア

学生事務局 中村真悠

1. 設置背景

京都府が消費者教育推進の対象に大学生を入れ始める。(2013 年)

京都府生協連から話が大学生協へ持ちかけられ、京都事業連合への業務委託契約を結ぶ。

2. 活動経緯

2013 年

・大学生協が進める「課題推進」のキャリア形成の中の一つ、という形で消費者教育を推進していくようになる。

消費者教育タスクチームが結成

京滋・奈良ブロック学生事務局をはじめ、消費者教育に興味・関心のある大学生協学生委員会のメンバーが集まる。

月 1 回程度のタスクチーム会議を行う。

・京都府消費生活安全センター 相談員の方も交え、どのように推進していくかを考える。

まずは自分たちで勉強をするために学習会を行ったり、講演を聴きに行ったり、

・「消費者市民社会」などをキーワードにセミナーを実施。

毎年 11 月頃の恒例セミナーに。

2014 年

・20 歳になってから学ぶのでは遅い！誘惑が多くなる大学生になるまでに啓発しなければ

新入生を対象にしたリーフレットを配布。「ぼくらのチカラに」

主に「契約とはどういうことなのか」「何に気をつければ良いのか」「トラブルが起こった場合どうすれば良いのか」ということについて。

・「待っていても啓発はできない。こっちから出向こう」

出前講座の準備・実施が始まっていく。(DVD)

リーフレット・動画・マニュアルの作成。

セミナーにてお披露目。その後、各大学生協に営業(?)をしていく。

2015 年

・昨年まで行ってきたことを行いつつ、より多くの人に興味を持ってもらうために「身近な購買行動」を考えてみる。

自分たちがモノを買うというのは、社会にどんな影響を与えているのだろうか？社会からどんな影響を受けて自分たちはモノを買っているのだろうか？

フェアトレード 社会貢献 をキーワードに活動を始める。

・社会貢献ゲームの作成

一方的に話をきいていても楽しくないし、頭に入りにくい。体験しながら学べないものか？

すごくゲームの中で自分たちの大学生活を疑似体験し、終了後にはゲーム中に得た知識、行った行動をうまく利用して生活してもらいたい。

2016年

・昨年に引き続き身近な購買行動・フェアトレード・社会貢献そして消費者問題の啓発を継続。

2014年にもあった「新入生になる時期に啓発活動を」ということで出前講座を新入生・保護者説明会で実施。

フェアトレード・社会貢献というキーワードから「エシカル」を知る。

・今年のセミナーは「エシカル」をテーマに開催予定。

3. 京都府との関係

・主に資金面での援助をいただいて活動。

セミナーの会場費。推進に必要な教材等の作成費用

・京都府が行う「京都府くらしのヤングリーダー養成研修」の1コマを行うなどしている。

・消費者問題等に関する情報提供。

4. 今後の展望

・引き続き、これまで行ってきたことを繰り返し、循環させ、広めていく。

セミナーの参加者も増加傾向。活躍の機会の増加。

・ブロックが合併したことで、より早くから消費者教育を進めてきた兵庫県との連携をうまく行えそう。

